



県議選・新潟市議選

4月3日告示

日本共産党 勝利へ全力

2015年3月29日(日) 第1810号
発行所 新にいがた 長岡市曲新町1-12-14 ☎025(247)6366
毎月第4日曜日 定価150円(送料50円)1966年7月22日 第三種郵便物認可



激励に応える(左から)諸橋、竹島、小池、笠井、細井、はっ通りの各氏=22日、長岡市

長岡市 県議席、市議4議席絶対確保

いっせい地方選前半戦の県議選と政令市・新潟市議選が4月3日告示、12日投票でたたかわれます。日本共産党は県議選で1から5議席への躍進をめざし、新潟市議選では現有7議席の絶対確保をめざします。各地で演説会が行われ、なんとしても勝利しようとする多くの参加者であふれました。

小池副委員長訴え

長岡市で22日、日本共産党の小池晃副委員長(減)勝利の演説会が開かれ、県議選(定数6)、市議選(定数34、4)を迎え、県議選(定数6)の勝利の演説会が開かれ、会場いっ



激励に応える(左から)いづか、いがらし、小池、しづやの各氏=22日、新潟市東区

新潟市東区 県議選勝利・市議2議席確保

新潟市東区で22日、日本共産党の小池晃副委員長を迎え演説会が

小池副委員長訴え

新潟市東区で22日、開かれました。4月3日告示の県議選東区(定数2)、市議選(定

ばいの参加者は力強い拍手を送りました。小池氏は、自民・公明与党の集団的自衛権行使容認の「閣議決定」を具体化する安保法制での合意は、どこにでも歯止めなく戦争に踏み出すものだとして批判。安倍政権の戦争への国づくりや国民の暮

め、何としてもみたび県議会へ送り出してください」と訴えました。笠井のりお市議団長

「残業代ゼロ」制度つくれ 労働者後援会宣伝



マテリアルPMG)社前で労働者後援会と、しづや明治県議候補が宣伝しました。

新新潟県日本共産党労働者後援会は18日、新潟市の大企業の前などで、志位和夫委員長が長時間労働の規制や「残業代ゼロ」制度の断念を訴えた国会質問のリーフレットを配布する宣伝活動を行いました。同市東区では、ダイヤメット(旧三菱

数9)で、しづや明治県議候補、いづか孝子、いがらし完二両市議候補(現職)を勝利させようと、会場いっ

ばいの参加者で熱気に包まれました。

小池氏は、くらしや社会保障、原発、米価暴落、海外で戦争をする国づくりなどで暴走を続ける安倍政権を批判。住民に冷たい県政や市政の実態と、それ

に対抗して住民要求を実現してきた各候補の実績を紹介し、大激戦のなか、勝利させてほしいと訴えました。

しづや候補は「放射能から子どもたちを守るために、何としても県議会に駆け上がり、原発ゼロを提案したい」と訴えました。

いづか候補は「30年勤めた保健師の目で市民の声を代弁し、安心できる医療・福祉を実現したい」と力説。

いがらし候補は「全国の政令市で民生費が最

下位の新潟市政から、くらし優先の市政に変えるために、引き続き働かせてほしい」と訴えました。

長岡市

竹島県議の議席、市議4議席絶対確保を 女性後援会が宣伝・支持拡大で奮闘



県議選・市議選勝利でがんばる女性後援会=10日、長岡市

長岡市の日本共産党女性後援会は、竹島良子県議の勝利、市議選(4月19日告示)で4議席の絶対確保をめざし、連日宣伝、ピラ配布、対話・支持拡大で奮闘しています。10日には、先週に続きハンドマイク宣伝を最下位の県政のなか、竹島県議は医療・福祉など県民の願い実現で全

他の市議候補

新潟市議選に立候補する7人のうち、他の3候補は次の通りです。



北区・風間ルミ子



江南区・わたなべ有子



秋葉区・くらしげ政樹

力で頑張ってきました。日本共産党が1議席から5議席に躍進すれば、県政を動かす力がグーンと大きくなります」と訴えました。
有権者から「竹島さんにはどうしても頑張ってもらいたい」「安倍政権の悪政を正せるのは日本共産党しかない」「日本の破滅の方向を食い止める力は、日本共産党だけだと固く信じています。頑張ってください」などの期待が寄せられました。総選挙での躍進で国会の質問時間が大幅に増えたことから、「共産党の国会論戦の記事が読みたい」と「しんぶん赤旗」の購読の申し込みもありました。
女性後援会は、2月にはふだんピラ配布がされていない山古志地区で大雪のなか、数日間には30人が参加してピラ配布。毎週住宅地でのハンドマイク宣伝、市街地での街頭宣伝を続けています。



元気に宣伝する女性後援会と、しづや明治県議候補=15日、新潟市

新潟市

戦争する国づくり阻止

女性後援会がいつせい宣伝

一方、他党派の活動も劇烈になっていきます。公明党は、県議選長岡市区を「超重点区」と位置付け、県外から大量動員され、酒屋や薬局など商店に何度も訪れ支持拡大したり、あやゆる結びつきを生かして、党員のところにもと誓い合っています。

支持拡大を強めています。他党派も公明党に負けまいと必死の活動で、様相が一変しています。
女性後援会は「やるべきことをやりきって、県議選・市議選でなんとしても勝利したい」と宣言しています。
宣伝では「安倍政権は戦争をする国づくりをすすめるため、新しい法律をつくらうとしています。県政・市政では子ども医療費助成拡充、医療・福祉充実、原発再稼働中止などが求められます」
「日本共産党は安倍政権の戦争する国づくりにストツプをかけ、暮らしを守る政治に流れを変えます。県政でも市政でも日本共産党を大きく伸ばしていただき、いっしょに政治を変えましょう」と訴えました。
窓を開けたり、家から出てきて聞いてくれる人がいました。「安倍首相は大嫌い。共産党に頑張ってもらいたい」「共産党大好き。頑張ってください」「あんなたちが頑張らないとだめ」「『赤旗』を読んでみたい」などの反応がありました。
各県議候補、市議候補も宣伝しました。

原発ゼロ一日も早く

福島事故から4年で集会

原発をなくす新潟県連絡会は7日、福島原発事故から4年になることから新潟市で「原発ゼロ新潟中央集会」を開き、200人が参加しました。集会後デモ行進しました。

集会では、福島県いわき市から村上市へ移住した元小学校教師の水野谷理恵さんが「いわき市では生徒にマスク着用を指導したら校長に妨害された。放射線の危険性など真実が



デモ行進する集会参加者=7日、新潟市

意のみでよいという立場を明らかにした。30き圏の自治体の同意も必要だと申し入れ書を提出した。4月に懇談する」(十日町・原発をなくす会)、「柏崎刈羽原発がいかに柔らかな地層の上に建設されている

かを学習した。4月に福島へ復興状況のバス視察を行う」(原発ゼロ阿賀野の会)など発言がありました。

集会では「なくそう原発・新潟市民ネット」の替歌メドレーがありました。

医師配置へき地・救急優先

竹島県議に知事答弁

新潟県議会で4日、日本共産党の竹島良子県議は一般質問し、泉田裕彦知事にたずねました。

竹島県議は、医師不足が深刻な中、今年度から新潟大学地域枠医学生の卒業が始まり、県の修学資金貸与医師が毎年十数人ずつ増加し、2024年度に170人になると見込まれることから、修学資金貸与医師の配置では地域医療支援センターが公的医師派遣の機能を發揮すべきだと強調しました。

泉田知事は「へき地医療や救急医療など、地域における政策的な医療の多くを担う公的病院に、優先して配置する必要がある。医師

の配置にあたっては、医療関係団体や市町村からの意見も十分踏まえ、検討していく」と答えました。

竹島県議は、精神科通院患者が増加する中、精神科救急医療体制整備が求められ、広大な面積の新潟県において、夜間の救急医療体制で南と北に分ける2フロック制を、さらに身近で受診できる体制にするために増やすべきだと答えました。

福祉保健部長は、ブロック数の増加を関係団体と協議していくと答弁しました。

竹島県議は、米価暴落で農家から大幅な減収で農業を続けられるか瀬戸際に置かれていると、県内のどこでも

そうした危機的な声が聞かれていると指摘。「担い手」と言われる農家が離農したら新潟県農業の将来にかかわる問題であることから、県独自の支援対策がどうしても必要だと力説しました。

泉田知事は「改めて農家の個別の状況もつかんで、対応していきたい」と答えました。

戦争する国づくりダメ

憲法カフェで学習

新潟県憲法会議は13日、第4回憲法カフェを新潟市内で開き、11人が参加しました。

いつもの美味しいコーヒートークをいただきながら、話題提供の金子修介護士の話に耳を傾け、活発な意見が出されました。

金子氏は「安倍首相が準備している集団的自衛権行使となれば自衛隊員が直接戦闘地域で人を殺し、自分が殺される」「自衛隊員が人を殺せるようになるために米軍の経験から人を殺しても平気で行われる特殊の訓練が行われる」と指摘しました。

新潟県労働者医療協会

理事長・高橋常彦	〒956-0814	新潟市秋葉区東金沢1459-1	Tel.0250 (24) 5170
下越病院	〒956-0814	新潟市秋葉区東金沢1459-1	Tel.0250-22-4711
舟江診療所	〒951-8011	新潟市中央区入船町3-3629-1	Tel.025-229-3588
介護老人保健施設入舟	〒951-8011	新潟市中央区入船町3-3629-1	Tel.025-229-3588
沼垂診療所	〒950-0075	新潟市中央区沼垂東6-4-12	Tel.025-244-0116
坂井輪診療所	〒950-2054	新潟市西区寺尾東3-8-35	Tel.025-269-6630
おぎの里	〒956-0012	新潟市秋葉区荻野町3-8	Tel.0250-25-3071
ときわ診療所	〒950-0036	新潟市東区空港西1-15-17	Tel.025-274-2714
かえつクリニック	〒956-0836	新潟市秋葉区田家2-1-30	Tel.0250-22-5888
下越鍼灸施術所	〒956-0837	新潟市秋葉区吉岡町18-26	Tel.0250-23-3347
かえつ歯科	〒956-0831	新潟市秋葉区中沢町1-25	Tel.0250-25-5510

冬芽の魁

「冬芽」冬、風雪に耐えて春を準備する木々がいと美しい。冬芽をしっかりと育み力を蓄えていく。早春のネコヤナギなどをみるとなおその感情がつのる。

(高橋シズ)

地方政治と住民運動の専門誌

議会と自治体

月刊